

## 学校経営推進費 事業計画書

標記について、下記のとおり提出します。

## 1. 事業計画の概要

実施課程名	全日制の課程
取り組む課題	生徒の学力の充実
評価指標	・年間読書冊数の増加 ・授業アンケートと学校教育自己診断における生徒の【授業満足度】や、学校教育自己診断における【カリキュラム満足度】などの向上
計画名	さやまアクティブ・ライブラリ ～読書活動の推進が、「狭山生を、自ら学び行動する生徒」へと育成する～

## 2. 事業計画の具体的内容

学校経営計画の中期的目標		<p>1 さらなる学力の向上及び進路の保証</p> <p>(1) 生徒が主体的に学べる充実した授業の実現に取り組む。</p> <p>(2) 個々の進路希望を実現する新カリキュラムによる学習指導を進め、家庭学習指導、個別指導の充実を図ることにより、進路の保証に結びつける。</p> <p>2 キャリア教育のための環境づくり</p> <p>(1) 自立・自律した人間として、将来の生き方を考えることができるプログラムを展開する。 エ 読書活動を推進する。</p>	
事業目標		<p>・本を身近なものとして、読書活動を習慣づける。</p> <p>・読書活動を本校の教育活動の中心であるアクティブラーニングと接続させ、課題を主体的に解決する力をいっそう向上させる。</p> <p>・ICTの活用によるデジタル情報の送受信は言うまでもなく、読書活動を通じてアナログな資料に対する批判の力をつけることによつて、どのような場面でも自分の意見をもち、説得力のある自己表現を可能とする。</p> <p>・上記の取り組みにより、(1)平成27年度に比して平成30年度には学校教育自己診断における生徒の【授業満足度】を75%に、【カリキュラム満足度】の75%超えをめざす。(2)授業(総合学習含む)での学校図書館の利用率を上げる。(3)図書資料の年間貸し出し冊数を2900冊以上に(平成26年度879冊、27年度1451冊)。</p>	
取組みの概要	導入・整備する設備・物品	<p>・ブックトラック(30台/各教室及び図書室) ・大判プリンター(1台/職員室)</p> <p>・調べ学習に使える一次資料の購入 ・推薦図書ブックレット発行(1000部)</p>	
	取組内容	前年度	<p>・図書委員会を中心とした図書館運営の実施(通年)。</p> <p>・マイメモリーを中心とした読書活動の評価(通年)。</p> <p>・生徒の自己表現能力向上のためのビブリオバトルの実施(2年:11月～2月)。</p> <p>・遊戯を通じて古典に身近に接するための百人一首大会を実施(1年:1月)。</p> <p>・レベル別に編集された教材を用いた英文の多読(随時)。</p>
		初年度	<p>・図書委員と教職員が高校生に読ませたい本を推薦し、ブックトラックを各クラスに配置することで、本と出会うきっかけ作りと読書の習慣を作る。</p> <p>・図書資料を活用した効果的な能動学習をすべての教科で展開できるよう、校内研修を充実する。</p> <p>・特別活動の時間を活用し、資料を批判的に検討する方法を習得、協同的な学びの場において自ら考える力の育成を図る。</p> <p>・マイメモリー(読書活動の記録冊子)を活用して、生徒の読書活動を評価する(国語科)。英語の多読を推進する(英語科)。</p> <p>・大阪狭山市立図書館と連携し、POPの作成や図書資料選定の方法を学び、キャリア意識を醸成する。</p> <p>・ビブリオバトルを2年生で実施し、学外で行われる大会へも参加する。あわせて百人一首大会を実施する</p> <p>・学習の成果物を大判プリンタで印刷し、一定期間掲示することによって生徒や保護者、地域に紹介する。</p> <p>・推薦本をブックレットとして発行する。</p>
		2年目	<p>・学校図書館の運営に図書委員を参画させ、生徒の主体的なキャリア意識の形成を促す。</p> <p>・各教科の授業において、図書資料を活用した協同学習、能動学習を展開し、自ら考え、表現する力の育成を図る。</p> <p>・読書する習慣を定着させると同時に、マイメモリーを読書活動の成果として生徒の読書活動にフィードバックする。</p> <p>・プレゼンテーション能力と傾聴力の涵養のため、ビブリオバトルの出前講座を近隣小、中学校で実施し、異校種連携を図る。</p> <p>・大阪狭山市立図書館との連携を強化し、互いの施設、人的資源の利用を図る。</p> <p>・百人一首大会、英語暗唱大会の実施。</p> <p>・大判プリンタにより成果物を生徒や保護者、地域に紹介すると同時に、本校HPを活用して取組み状況を情報発信する。</p>
		3年目	<p>・図書資料を活用した能動学習を狭山高校の特色として定着させる。</p> <p>・ICTネットワークによるデジタルな情報と、図書資料によるアナログな情報とのバランス感覚を生かし、学び続ける存在として持続的な学習活動を続けられるような生徒を育成する。</p> <p>・新しい大学入試システムに対応した学力を持つ生徒を育成する。</p> <p>・学校図書館と読書活動のあり方を総括し、次年度以降のさやまアクティブ・ライブラリのあり方を検討する。</p> <p>・大判プリンタにより成果物を生徒や保護者、地域に紹介すると同時に、本校HPを活用して取組み状況を情報発信する。</p>
取組みの主担・実施者	<p>取組みの主担：さやまアクティブ・ライブラリチーム(略称：sal 継続的な進化を象徴する)</p> <p>取組みの実施者：チームさやま(狭山高校全教職員)</p> <p>協力：大阪府立中央図書館、大阪狭山市立図書館</p>		
成果の評価指標方法	初年度	<p>①年間貸し出し冊数を1900冊以上に。すべてのクラスが授業等で図書館を利用する。</p> <p>②授業アンケート：「授業に、興味・関心を持つことができたと感じている」「授業を受けて、知識や技能が身に付いたと感じている」(H27年度平均76%)を平均78%以上に。</p> <p>③学校教育自己診断の結果、【授業満足度】(平成27年度66.9%)を70%に引上げる。</p>	
	2年目	<p>①年間貸し出し冊数を2400冊以上に。すべてのクラスが授業で多読や調べ学習などで図書室や図書資料を利用する。</p> <p>②生徒の授業アンケートにおける「授業に、興味・関心を持つことができたと感じている」「授業を受けて、知識や技能が身に付いたと感じている。」を平均80%以上に。</p> <p>③学校教育自己診断の結果、【授業満足度】を前年度より5%引上げる。</p>	
	3年目	<p>①年間貸し出し冊数を2900冊以上に。すべてのクラスで、図書資料を活用した表現活動を行う。</p> <p>②生徒の授業アンケートにおける「授業に、興味・関心を持つことができたと感じている」「授業を受けて、知識や技能が身に付いたと感じている。」を平均82%以上に。</p> <p>③学校教育自己診断の結果、【授業満足度】を前年度より5%引上げる。</p>	
		学校番号	329

## 3. 事業費

事業費総額	2,838,312	円
-------	-----------	---

## 積算内訳

科目(節)	番号	内訳	1年目	2年目	3年目	単価	数量	金額
1 報償費	1							
	2							
	3							
	小計							
2 旅費	1	先進的実践校見学(京田辺シュタイナー学校)	○			¥2,400	5	¥12,000
	2	講師交通費(中央図書館司書)	○			¥1,700	4	¥6,800
	3							
	小計							
3 消耗需用費	1	スチール製ブックトラック(各教室24台・図書室6台)				¥40,608	30	¥1,218,240
	2	4色大判プリンター用インクカートリッジ(4色セット)				¥106,920	5	¥534,600
	3	4色大判プリンター用用紙(728mm×30.5m)				¥17,496	5	¥87,480
	4	ビブリオバトル用卓上ベル				¥792	8	¥6,336
	5	ブックレット印刷費						¥291,600
	6	調べ学習一次資料図書購入費(白書、統計、年鑑など)				¥2,500	40	¥100,000
	7							
	小計							
4 維持需用費	1							
	2							
	3							
	小計							
5 役務費	1							
	2							
	3							
	小計							
6 委託料	1							
	2							
	3							
	小計							
7 使用料及び賃借料	1							
	2							
	3							
	小計							
8 備品購入費	1	4色大判プリンター				¥581,256	1	¥581,256
	2							
	3							
	小計							
9 工事請負費	1							
	2							
	3							
	小計							
10 負担金・補助及び交付金	1							
	2							
	3							
	小計							
合計								¥2,838,312